

ユリオプスデージー（マーガレットコスモス）



■マーガレットコスモスのプロフィール

※地域の花として採用されているのはユリオプスデージーの仲間の「マーガレットコスモス」ですので、ここでは「マーガレットコスモス」について解説します。

学名：*Euryops chrisanthemoides*

科名：キク科

分類：常緑低木

原産地：南アフリカ

マーガレットコスモスは、南アフリカに分布するキク科ユリオプス属の常緑性低木です。マーガレットコスモスの花期は4月～12月と長く、ほぼ一年中花を咲かせます。茎の頂部の葉の付け根から花柄を長く伸ばし、花径3～4cm程度の頭状花を咲かせます。

マーガレットコスモスが属するユリオプス属の植物は、南アフリカを中心に約95種が分布しています。

ユリオプスデージーはよく似た草姿をしていますが、別種の植物です。よく混同されていますが、見分け方は簡単で、大きな違いは葉色です。ユリオプスデージーは葉に細かい毛が密集して生えているため、白味がかって見えます。対してマーガレットコスモスの葉は、毛の無い緑葉です。

■マーガレットコスモスの育て方

●育て方のポイント

基本的には、とても丈夫で育てやすい植物です。日当たりが良く、水はけの良い場所が適しています。夏の西日に当たっても葉焼けすることはありません。

耐寒温度は-3℃程度ですので、関東以南の暖地であればそのまま戸外で冬越し可能です。

暑さと乾燥には強いのですが、多湿を嫌い、蒸れから葉が枯れこんでくることがあるので、枝を透かし、風通しを良くしてやって下さい。

梅雨～夏の間、花が落ち着いた時期を見計らって透かし剪定を行います。

草姿が乱れた場合は、秋に半分程度の大きさまで切り詰めて、枝の更新をして下さい。多少大胆すぎるほどに切り詰めても、新しい芽が吹いてきます。

肥料は庭植えの場合はそれほど必要としません。他の植物に肥料をやるついでに与える程度で十分です。プランター植えの場合は、時々液体肥料や緩効性化成肥料などを施します。

